

F: タイムラインをまずは決める

S: 地方のときはどうしていた？最初の1時間話し合い、その後分担して発表に向けた作業を始めた。

S: 話し合いは一緒。スライド1枚ごとに担当者を決めてスライドと話す内容を作った

S: 自分でスライドを作って発表。代表者を立ててその人が進行

S: 何を重点において話し合う？

F: 当事者としてこういうことを課題として考えている。現状・問題・課題・対策で分けると良いと思う

S: コロナで休校になった。学校やったこと(授業の進め方やコミュニケーション)と、困ったことを発表してほしい

S: 休校になったときにDiscordやGoogle Classroomを使ったが、知識の差があったり、Zoomを使ってショートホームルームをやったが人が集まらないということがあった。通信環境やそれぞれの知識を平準化したいと思った

S: 授業は、Youtubeに1日5-6時間分の授業動画がアップロードされるので、それを見て個人が進めた。困ったことは質問ができないことと、やらない人が出てきてしまう事だと考える。機器の整備状況が家によって変わるのも課題

S: ZoomやTeamsを使ったが、教員にも生徒にも個人差がある。

S: Zoomを使ってライブで授業を行った。良かった/悪かった点はみなさんとほぼ同じ。差を平等にしてシンプルにするというのを意見の中心にできたらいいなと思った。

S: GoogleClassroomや郵送で課題を受けて、提出するというのをしていた。県内でもオンラインでは遅れをとっていた。そのあたりを改善できるようなことを低減できるといいなと感じた。

S: 一番出てきた言葉が「差がある」だと思う。「差」という言葉を中心に考えたいと思う。

S: 生徒と教師の知識の差、ハードウェアの差。「学校によつての差」それを細かく具体的に示していく方法で進めると良い？

S: 「シンプル」というのはいいと思う。

S: まずは知識の差から

S: 課題配布されても、生徒も教師もGoogle ClassroomやDiscord, Zoomの使い方でトラブルが出た。

S: Youtubeの限定公開だったこともあってURLがわからないなどトラブルが合った。授業時間差もあって15分で終わる人もいれば60分かける人もいた。

S: 日常生活で普段どれだけICTに関わっていたかで知識の差がついたと思う。

S: 使っているうえで不便なこともあると思うが、そもそも活用すらできてないことが多かった。基本的な制度の部分も話し合えると良いと思った。

S: 先生向けにICTの講座を開いてもらおうと良いのではないかと感じた。

S: いま出てきた課題から「改善案」を考えてみたいと思う

S: 知識・技術・環境・意識に分けて差の話をしていたが、いくつかカテゴリを作ったほうが良い？

S: 例えば、知識・技術で1つ、環境と意識の3つ.

S: 「知識・技術」

S: 先生方の講習会はあったほうが良いと思う

S: 先生ができないと生徒にも課題提供ができないので、全体的に先生からやってもらうと良いと思う

S: みんなICT初心者なので、全員に講習会があったほうが良いと思う

S: SNSの知識はあってもZoomなどの知識はないことが多いので、講習会は必要だと思う

S: 講習会だと密になるかもしれないが、Zoomの運営側の人と各学校に行ってもらう(動画を作ってもらう)と良いのではないかな？

S: 全国で統一した講習会ができればもっといいと思う.

S: 県によって格差ができないようにという話があったので、徹底的に差をなくすということが大事だと感じた

F: 「なぜ？」というところをもっと深めてみると良いと思う

S: 差があることによって、知識の差が生まれて→学習状況の差が生まれて. とつながっているよう見える.

S: 「なぜ差が生まれるか？」はなぜだと思いますか？

S: 今までICT技術に触れてこなかったから、突然やれって言われてもわからなかったのだと思う.

S: 今まで授業などでも使っていなかったなので、差が生まれたのだと思う

S: 使う機会がないというのはオモシロイと思った. ICTを取り入れることで便利に使えるのでは？という話があったが、使わないといけない. 使う機会が新しい生活様式で増えた分、使う機会が増えたらいいと思った

S: 日常で使うか使わないかがあったが、その根底には意識の差があると思っている. ICTを信用している人と信用していない人がいるような気がする. 昔ながらの授業方式が良いという人もいれば、ICTを使う人がいてもいいという人もいる.

S: 小学校から授業導入していたらもっと変わると思う

S: コロナの影響でICTをみんなが使う環境になった.

S: 最初にコロナが起きたときは、初めてICTを使った授業を受けている. 平等なスタート地点に立ったのかと思う

S: 各都道府県の対応の差は、他都道府県との協力ができていないように見える. そのあたりの協力も見直したほうが良いと思う

S: ICTに関しては、県の枠組みではなく国として一つの国として動いてほしい

S: 世界と繋がれるということは大きいと思うので、枠組みをなくすのは良いと思った.

S: 5Gが話題になっている. 自分の持っているのは3Gでタイムラグが有る. 5Gはエリアが限られているが、それによって学力の差が生まれてくるのではないかと感じた.

F: なぜ差が生まれた？というところで、利用頻度、意識、横の情報共有が出てきた。「意識」という話が最初にあったと思うが、皆さんは意識高いと思うが、普通の高校生にはなにか理由があるか？課題があるか？を議論してみると良いと思う

S: 「ICT研修」というのが学校の掲示板にはられたが、ICTって難しそうとなり、距離を置く人たちがいた。身近になってきているのに、感覚としては遠いところにあるような気がした。

S: ICTって聴くだけで、え？ってなる人もいたり、将来使わないからって意地張る人とかがいるのはしょうがなくて、意識の差が起きるのはしょうがない気がする

S: カンファレンスのチラシを見たが、理解している人がいない状況だった。工業高校で実習科目があるが、実習はリモートではできないから関係ないのでは？という雰囲気があった。

S: 最初から持っている考えを変えるのが難しいという話はあると思うが、システムが複雑になり、進められても始めるとはたしかに難しい気がする。シンプルにするとよいのではないか。

S: 色んなものと初級・中級・上級というようなカテゴリ分けがあるが、ICTにそういうものがない気がする。今更ICTって何？と聞くのも恥ずかしい状況に鳴っている気がする

S: 数学なら足し算から始める。順番を踏まないと次に行けないが、ICTはどこから入ったらいいのかわからない。

S: 「差」が問題という話があったが、レベルと言う形で「差」を捉えられたらすごく良いと感じた

S: 自分のレベルに合わせてどういうことをやればよいのか？というのは人によってバラバラだと思う。マニュアル的なものを国などに統一してもらおうと思う

S: 企業や有識者だけではなく、高校生も入って「導入」のレベルを考える必要があると思う

S: 上級しかない部分から初級や中級を作ると良いと思う。

F: 一旦ここで休憩。学校とか先生に期待すること、社会に期待することを抑えられていて良いと思う。

S: 「差をなくす」と「simply」というところから、「差をレベルに変える」方向で、話をまとめてみたらいいような気がした

S: Simplyにするためにレベルを作る。レベル分けの中で何をシンプルにするか？があると良いと感じた。

S: 環境の中のレベル、意識の中のレベルと言う感じで、それぞれカテゴリに分けたらいいと思う

S: レベルとは？

S: 日常や意識、制度に分けると考える。意識のレベルの低い人はICTに興味がないので、レベル0、知りたいけど何をしたらいいかわからない人はレベル1みたいな雰囲気。

S: そもそも差が生まれたのは使う機会のなさが原因だと思う。チェックシートのようなものでチェックした上で、ICTを使い始めると良いと思う。レベルチェックシートのような。

S: レベルを踏まえた上での平等があるとよい

S: その人にあったレベルを、環境、個人、社会でつくる

F: 社会は突然、マニュアル/ネットに慣れていない。自分たちはなれやい s 黄、環境は横の共有がないなどが問題だった。それぞれに打ちて(レベル)を考えていくと、シンプルにICTが有効活用できるというので正しい?

S: 各レベルに分けた後は、レベルに応じたマニュアルを作って使ってもらうようなイメージ?

S: 国に低減したいことなので、アンケート的なものを作って、答えてレベルが出てくる。その上で、これがおすすめです。というのを本とかアプリを作って欲しい。

S: 分け方がわかりにくいかなと思った。アンケートにするとしたら、受け取り側目線で社会というのは違うような気がした。ただ、社会は考えないといけない。

S: 意識レベルと知識レベルはわかりやすいが、社会レベルと環境レベルではなくて、もっとシンプルな、わかりやすい「名前」があると良いと感じた

S: 個人のレベルが集まって社会のレベルが把握できると思うので、同意

S: レベル分けするのは個人と環境で、社会は自分たちがこうしてほしいと思ったことを伝えるだけでよいのではないか

S: 個人の中に、環境や意識、知識があって、個人が集まると社会になるのではないか

S: 環境レベルは個人とは少し違うと思う。環境レベルというより、家庭環境とすると良いと思う。

S: 「個人の」が先につくとわかりやすいと思う

S: 「個人の」環境、意識、知識、技術。

S: 知識と技術は同じで良いと思う。なにかいい言葉があると良いと思う

S: 「個人の」環境、意識、知識・技術の集合が社会になる。

S: 次にレベル分け

S: レベルを分けたあと、どう改善策に結びつけるか?

S: 「差がある」というのが問題で、「レベルを分ける」というのが低減だと思っていた。レベルを作るのも難しいので、「国に」それを作ってもらうと良いと思っている

S: レベル分けをすることで、使いやすいICTを実現できるというのがシンプル

S: レベル分けをして初期設定、マニュアルをもらう。というのは提言として良いと思う。提言でレベル分けといなるとわかりにくいと思うので、一つだけ具体例を出すような感じが良いと思う

S: 初期設定のほうが良いかマニュアルか両方か

S: 解決策を含めてレベル分けというところでよいのではないか

S: レベルに分けた後の話をしたほうがよいのではないか

S: どれがどのレベルか?をやらないといけないと思うが

S: シンプルなだけで使いにくいのであれば意味がない。

F: 「提言」なので、「シンプルがいい」よりは、国なのか学校なのか自治体なのかはわからないが、こうしてほしい。で締めたほうが良いと思う

S: レベル分けに対応したICT端末を支給してもらおうと良いと思う

S: iPadなど具体名は、具体的な話のところ出すと良いと思う

S: レベル分けされた端末を全国に配る。までやれば提言になるとおもう

S: 配るだけではなく、初期設定やアプリだけでもよいのではないか？

S: 全国の端末を一緒にすることで「差」がなくなるのではないか

S: すでに配っているところもあるので、アプリで対応が現実的で良いと思う

S: どこを具体的に説明するのが良いか。

S: 「技術」は難しいと思う

S: 「環境」のほうがわかりやすいと思う。

以降、発表資料作成